

# 地域密着型金融推進計画

## 1. 計画の主旨

平成 17 年 3 月 29 日に公表された「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム（平成 17～18 年度）」では、リレーションシップバンキングの機能強化計画（平成 15～16 年度）において、地域密着型金融を推進するための基本的な態勢整備が進んできているなど、一定の評価はできるものの、事業再生等の分野をはじめ、具体的成果が顕在化するまでに時間を要するものが少なくないなど、取組成果がまだ十分に現れていないものも多いため、引続きその推進を図っていく必要があるとされています。

当金庫は、昭和 20 年の創業以来、「地域との共存共栄」を標榜し、一貫して顧客志向、地域重視の経営を進め、この結果、地域の企業及び住民から絶大なる「信用と信頼」を得るとともに、地域のリーディングバンクとしての地位を確保して参りました。

さて、日本経済は一部の企業や地域において景気回復の兆しが出ておりますが、北海道は未だ不況から脱することができず、とりわけ当金庫の主営業地区は、主要産業である漁業の低迷やこれまで地域経済の牽引役を担ってきた建設業の不振に加えて、観光産業もここ数年は観光客の落ち込みにより、苦戦を強いられている状況にあり、当地域の景況は依然として浮揚の兆しが見えておりません。

しかし、こうした状況下においてこそ当金庫が地域に果たすべき役割は増大するものと思料いたします。

従って、地域発展のために当金庫は、従来にも増して経営の健全性、安定性を高め、さらなる強靱な経営体質を維持・向上させることを目的として「地域密着型金融推進計画」を策定するものであります。

## 2. 計画期間

平成 17 年 4 月 1 日（金）から平成 19 年 3 月 31 日（土）まで

## 3. 信条（経営理念）

当金庫が永続的に目指しているものは、経営の基本理念である『信条』の実現であり、この『信条』がもつ不変のポリシーは、時代が変わり、人が変わっても、脈々と受け継がれています。

『信条』

稚内信用金庫は地元と共に繁栄します。

- 一．勇気と矜りをもって限りなき進歩を、そして発展を。
- 一．お客様には親切に、早く、正確に、そして真の奉仕を。
- 一．従業員には安定した生活を、そして幸福を。
- 一．会員には良質な資金の供給を、そして公正な配当を。
- 一．より強固な基礎を築く為に蓄積を、そして大きな信用を。

4．計画の目標

(1) 基本目標

当金庫は、平成 13 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日までの 5 年間に推進する「第 3 次長期経営 5 カ年計画」(添付資料 NO.1)において

経営の健全性確保による信頼性の一層の向上

強靱な経営体質の構築

変革の時代に即応した業務推進

の 3 項目を基本目標に設定のうえ、役職員一丸となって推進しております。

また、この計画は平成 18 年 3 月末をもって終了することから、平成 18 年 3 月中を目途に「第 4 次長期経営 5 カ年計画」を策定する予定となっております。

(2) 計数目標

当金庫は地域社会、地域経済の発展に貢献するとともに、お客様がより一層安心してお取引いただけるよう、さらに強靱な経営体質を構築するために、以下の計数目標を設定いたします。

(単位：百万円)

	平成 17 年度	平成 18 年度
業 務 純 益	2,387	2,349
当期純利益	1,418	1,364

5．その他の推進事項

(1) 事業再生・中小企業金融の円滑化

創業・新事業支援機能等の強化

取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

事業再生に向けた積極的取組み  
担保・保証に過度に依存しない融資の推進等  
顧客への説明態勢の整備、苦情相談処理機能の強化  
人材育成

( 2 ) 経営力の強化

リスク管理態勢の充実  
収益管理態勢の整備と収益力の向上  
ガバナンスの強化  
法令等遵守（コンプライアンス）態勢の強化  
I T の戦略的活用

( 3 ) 地域の利用者の利便性向上

地域貢献等に関する情報開示  
地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立  
地域再生推進のための各種施策との連携等

以上